

(参考様式 5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
雲南市	322091	2	H20~H23	H20~H22
活性化計画の区域				
雲南市全域（市街地形成区域除く）				

1. 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
交流人口の増加	0.83%	35.83%	4,316.87%	
地域産物の販売額の増加	17.00%	16.68%	98.12%	

(コメント)

豊富な地域資源を活かした雲南ブランド発信の拠点施設整備により、都市交流活動の拡大が図られ、「交流人口の増加」は目標値を上回り達成できた。

一方、今回の安心・安全な地元素材による農林水産物等を提供する施設整備により、農業所得は向上しているが、高速道路整備に伴う既存施設を取り巻く環境の変化により、全体として「地域産物の販売額の増加」は目標値を達成できなかった。

2. 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
① 農林産物直売・食材提供供給施設	農産物直売・農家レストラン施設 1棟 259.40 m ²		雲南市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
指定管理者(NPO 法人ふる里雲南)	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年 4 月 28 日
事業の効果			
尾原ダムのエントランスにあたる国道 314 号沿いに、地元で生産する安心安全な野菜や山菜などの特産品や昔ながらの田舎料理を提供することにより交流人口の拡大や地元農業者の所得向上に寄与している。また、尾原ダム周辺では、島根県、雲南市及び奥出雲町による地域振興施設も整備されており、各施設の連携による相乗効果が期待される。			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
② 廃校・廃屋等改修交流施設	湯村廃屋改修交流施設 1棟 234.37㎡		楽々会（農業者によって組織された団体）
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
楽々会	平成21年度	平成21年度	平成22年4月26日
事業の効果			
<p>空き家再生による施設の趣と地域の風土を活かした宿泊機能付き農家レストランとして内外から注目され、安心安全な地元食材を活用することにより、「食と農」のシンボル拠点としての機能を発揮している。利用客は市外の女性が多く、交流人口の拡大に寄与しているほか、地域外貨の獲得と農業生産者の意欲向上に貢献している。</p>			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
③ 教養文化・知識習得施設	下布施農村体験施設 1棟 119.70㎡		雲南市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
雲南市	平成21年度	平成22年度	平成23年4月1日
事業の効果			
<p>体験農園と乗馬体験機能を有した放牧施設による交流人口の拡大を目指し、基盤施設となる管理棟と農業用水施設等の整備を行った。農林産物直売・食材提供供給施設をはじめとする尾原ダム周辺施設との連携により更なる交流人口の拡大に寄与している。</p>			

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
④ 廃校・廃屋等改修交流施設	入間交流促進施設 1棟 836.28㎡		雲南市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
指定管理者(入間コミュニティ協議会)	平成21年度	平成22年度	平成23年4月1日
事業の効果			
<p>入間交流促進施設は、旧入間小学校校舎を活用し地域交流促進施設として改築したものであり、整備後も地域の交流活動拠点や福祉・防災拠点としての機能をもつとともに、豊富な地域資源を活かした都市交流活動の拠点として交流人口の拡大に寄与している。</p>			

3. 総合評価

(コメント)
① 地元農林産物の販売や農家レストランへの食材提供を通して、新たな食材の発掘や商品開発が行われており、更なる農業者の所得向上が期待できる。また、尾原ダム周辺施設との連携を図る中核施設として、交流人口の増加に寄与することが期待される。
② 利用客の増加が直接交流人口の拡大に寄与しており、特に宿泊機能が地域全体の交流人口の増加、経済効果の発揮に貢献している。施設と地域の風情、野菜を中心に安心

安全な地元食材にこだわっていることが堅調な利用客の獲得や農業生産者の意欲向上に寄与しており、今後も地域資源にこだわった運営が期待される。

- ③ 尾原ダム周辺への来場者の増加は今後も期待でき、体験農園や放牧場の活用により地区の活性化が期待できる。
- ④ 旧小学校を改築した地域交流活動の拠点施設であるとともに、花田植えなどの伝統文化や日本の滝 100 選である八重滝等の豊富な観光資源を活かした都市交流活動の拠点施設として地域の活性化及び交流人口の拡大に期待できる。

4. 第三者の意見

(コメント)

本事業による施設改良・整備により交流人口の増加が見られ、明らかな成果が上がりつつある。また、既存施設との相乗効果を戦略的に追求していること、地元農業者の組織が施設運営を担うなど、地域住民の創意工夫・意欲を引き出す運営のあり方を追求していることなど、高く評価すべき点が多々見られる。食材へのこだわりなど、今後のリピーター増加も期待でき、安定的・継続的な事業の展開が十分可能である。

【島根大学法文学部准教授 関 耕平】